

7 稲荷社 (かきから稲荷)



海を渡ってきた観音像は、体に取り付いた「かきから」の導きによって当地へ流れ着きました。その伝承にちなみ、観音像が漂着した6月に法要を執り行います。

8 経蔵



内部の回転式書架を一回転させることで、収められたすべての経典を誦読した功德が得られるそうです。また、般若心経の真言を刻んだマニ車18基も設置されています。

9 鐘楼



文永元年(1264)に造られた当山の梵鐘は、鎌倉で三番目に古い鐘です。現在の梵鐘は昭和五十九年に新鑄したもので、歌人佐木幸綱の短歌が寄せられています。

10 書院 (写経会場)



写経会場は通年開設。いつでも写経・写仏の体験が可能。
■ 受付時間 午前9時～午後1時
■ ご用紙料 1部1,200円(拝観料別)
※ 団体(10名様以上)は、要事前予約

11 その他みどころ 和み地藏等



【彫刻・建築】石造釈迦如来坐像並び四天王／ふれ愛観音／和み地藏／良縁地藏／一木造木魚(本邦最大)／薬医門
【文学碑】大野伴睦句碑／高浜虚子句碑(石造聖観音)／久米正雄胸像／高山樗牛住居跡

12 観音ミュージアム



3つの展示室で構成された当館は、デジタルキャプションや映像解説を導入し、観音菩薩の御利益を身近に感じることが出来ます。

■ 受付時間 午前9時～午後4時(閉館 午後4時30分)
■ 休館日 展示替え等の臨時休館あり(詳細はHPでご確認ください)
■ 入館料 大人(中学生以上) 500円
小人(小学生) 200円

【定期刊行物】鎌倉文化研究会の学術誌「鎌倉」を刊行中
観音ミュージアム(直通)
TEL 0467-22-6100 FAX 0467-22-6101



13 眺望 (あじさい) 散策路



梅雨を迎える頃、眺望散策路は「あじさい路」となり、40種を超える紫陽花の競演をお楽しみいただけます。

14 海光テラス



海辺の高台に位置するテラスからの眺望は由比ヶ浜をはじめ、遠くは三浦半島、相模湾を一望できます。

15 海光庵



精進料理ベースのお食事や心を癒す甘味などをお楽しみいただけます。窓一面に広がる由比ヶ浜の大パノラマを堪能しながら憩いのひと時を過ごし下さい。
■ 営業時間 午前10時～午後4時(お食事は午後3時まで)

16 てらやカフェ



厳選したコーヒー豆と、こだわりの素材によるドリンクやソフトクリームをご用意しております。
■ 営業時間 午前10時30分～午後4時

17 なごみショップ



当山のマスコット「和み地藏」のグッズを扱うのはここだけ！豊富な品揃えのなかから、ぜひあなたの「推し」をみつけてみてください。
■ 営業時間 午前10時30分～午後4時30分

鎌倉 長谷寺

宗教法人 長谷寺 (単立 浄土宗系)
坂東第四番札所 長谷観音
〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷 3-11-2
TEL 0467-22-6300 FAX 0467-22-6303
江ノ電「長谷駅」下車 徒歩5分

■ 拝観受付時間
・通常期間 午前8時～午後4時30分(閉山 午後5時)
・4～6月 午前8時～午後5時(閉山 午後5時30分)

■ 拝観料 ■ 駐車場(山門手前左側)
大人(中学生以上) 400円 普通車 350円/30分
小人(小学生) 200円 大型車 1,000円/30分



詳しくはこちら
hasedera.jp



ご祈願・ご供養の
オンライン申し込み



オンラインストア
jyuyo.com

鎌倉 長谷寺

日本語

年中行事

■ 毎月18日 観音会 ■

1月	1月1日 修正会 万灯祈願	6月	6月1日 阿弥陀会 かきから稲荷祭
2月	2月3日 節分会	8月	8月10日 四萬六千日大功徳日
3月	3月18日 春季彼岸会	9月	9月18日 秋季彼岸会 9月26日 大黒天縁日
4月	4月8日 灌仏会 (花まつり)	11月	11月18日 写経清浄会
5月	5月11日 弁才天縁日 5月18日 観音施餓鬼会	12月	12月18日 観音御足参り祈願 歳の市 12月31日 除夜会・万灯祈願

海光山慈照院 長谷寺

鎌倉長谷寺。奈良時代の天平八年（736）に開創された鎌倉有数の古刹であり、鎌倉時代には坂東三十三所観音霊場の第四番札所に定められ、東国を代表する観音信仰の霊蹟として、往古より多くの方々の篤い帰依を集めてまいりました。「長谷観音」の名で親しまれる当山は、創建以来連綿と続くその法灯を守り、「観音浄土」の余香を今の世に伝え続けます。



1 観音堂



本尊の十一面観音菩薩像は、像高三丈三寸（9.18m）にも及ぶ本邦最大級の木彫仏です。養老五年（721）、楠の霊木から造られた二体の観音像のうち、一体を衆生済度の誓願とともに海中へ奉じたところ、天平八年（736）、相模国の長井浦（横須賀市長井）に忽然と姿を顕したといえます。流れ着いた尊像は鎌倉へ遷座され、当山開創の礎となりました。錫杖を右手に執り方形の岩座に立つ姿は長谷寺に祀られる観音像特有の姿として「長谷寺式」と呼ばれます。

2 阿弥陀堂



鎌倉幕府を開いた源頼朝公の厄除けを祈願し造立された尊像と伝えられ、後年「厄除阿弥陀」として諸方の信仰を集めました。鎌倉でも数少ない丈六仏であり、「鎌倉六阿弥陀」のひとつ。

3 地藏堂



「福壽地藏」を安置する地藏堂とその周囲にお祀りする千体地藏尊によって、当所を地藏菩薩の浄域と定め、諸霊の供養とさせていただきます。

4 大黒堂



往古より伝わる霊像は、応永十九年（1412）の銘をもつ東日本最古の像（非公開）。現在、大黒堂にお祀りする「出世開運授け大黒天」は、鎌倉・江の島七福神の一つに数えられます。

5 弁天堂



弘法大師由来の尊像は秘仏のため非公開。その霊像にかわり、現在の弁天堂には「福德弁才天」が祀られています。

6 弁天窟



弘法大師が当山の窟に籠って修行した際、自作の弁才天を納めたことにその名は由来します。この伝承にちなみ、窟の壁面には弁才天と眷属の十六童子が彫刻されています。